



総務省国際戦略局通信規格課企画官

## 福島 千枝 Chie FUKUSHIMA

- 平成 8年 4月 郵政省採用  
同 電気通信局電波部監視監理課
- 平成 9年 7月 同 電気通信局電波部計画課
- 平成 10年 7月 米国留学(ハーバード大)
- 平成 12年 7月 郵政省大臣官房国際部国際経済課北米経済係長
- 平成 15年 8月 総務省情報通信政策局情報通信政策課課長補佐
- 平成 16年 1月 同 情報通信政策局総務課課長補佐
- 平成 16年 7月 同 総合通信基盤局国際部国際経済課  
多国籍経済室室長補佐
- 平成 17年 8月 同 情報通信政策局放送技術課課長補佐
- 平成 19年 7月 内閣官房地域活性化統合事務局参事官補佐
- 平成 21年 7月 在カナダ日本国大使館一等書記官
- 平成 24年 8月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課  
国際周波数政策室課長補佐
- 平成 26年 4月 同 情報通信国際戦略局国際協力課国際交渉専門官
- 平成 28年 7月 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター企画調整官
- 平成 29年 7月 総務省情報流通行政局サイバーセキュリティ課調査官  
併任 内閣府企画官(政策統括官(科学技術・  
イノベーション)担当)付参事官  
(戦略的イノベーション創造プログラム担当)付
- 平成 30年 7月 現職

活躍の場は世界から  
地方の元気まで

Ms. Chie Fukushima

### 現在の業務

世界中のどこにいても電話がつながったり、地球の裏側で起こっている出来事をインターネットを通して瞬時に知ることができたりといった、情報通信が発展した現在では当たり前の世界は、つながることを実現するために、国際的に共通の方式や規則の上に成り立っています。この共通の方式や規則を策定することを国際標準化といい、私が所属する通信規格課はこれを推進しています。

中でも、私は、研究開発の当初から国際的な協力関係を構築し、国際標準化を推進しながら研究開発を進める国際共同研究の実施に取り組んでいます。欧州委員会との間でテーマ設定を行い、共同で研究実施者の公募・採択を実施し、研究開発開始後は合同評価などを行っています。海外組織との調整は文化的・時間的に苦労も伴いますが、共同研究の参加者から、「本研究開発で成果を出したことから、各方面から問い合わせが来るようになった」といった話を聞くと、疲れも吹き飛びます。

少し変わったところでは、あらゆるものがインターネットにつながることを指す「IoT」が普通の言葉として広がる中、学生や若手エンジニアを対象としたIoTシステム開発の

スキルアップイベントを各地で実施しています。若手が、ときには中高生も含み、楽しそうにIoTの作品作りに取り組む姿を見ると、将来本格的に取り組むきっかけになればとの期待が膨らみます。

### これまでの業務

私は、入省3年目に、ハーバード大学に留学する機会に恵まれました。帰国後は、国際的な業務に従事することが多くなっています。規制改革に関して日米間で地道な対話を積み重ねたり、アウン・サン・スーチー議長率いる政党が選挙で勝利を収めるといふ激動の時代のミャンマーに何度も出張し、協力関係の強化を進めたりもしました。また、在カナダ日本国大使館に3年間赴任し、大國米に隣接するために調和の必要性に迫られつつも独自の存在感を模索する国の雰囲気を感じました。2年間のサイバーセキュリティ関連業務では、特に内閣官房内閣サイバーセキュリティセンターに出向時には、ASEANとの間で定期的に開催する会議で議長を務めました。

このような国際関係業務の一方で、地域活性化にも取り組みました。内閣官房地域活性化統合事務局に出向し、構造改革特別区域(特区)制度の下で、地域からの規制緩和要望を受けて、関係省庁に対して地

域を限った規制緩和の実現を働きかけたり、規制緩和を地域活性化に生かせるよう、担当した東北地方の各地を訪問して、制度の広報に努めたりしました。

### 皆さんへ

こうして振り返ってみると、国際関係の業務が公務員生活の半分以上を占めています。その一方で、地域活性化、地上デジタル放送への移行に関する業務など、さまざまな業務に携わってきました。皆さんも、いろいろな可能性を提供してくれる職場で、一緒に働いてみませんか。



カナダの大臣にはっぴを着ていただくべく奮闘中

### 忘れられない仕事

本当にたくさんあるんですが、まず、採用の3年後に世界無線通信会議で小さなグループだけで議長をするはめになったことですね。英語は苦手ですごく辛くて、詳しい人を何人も呼び出して助けてもらいましたが、一番吹っ切れたのはその会議での上司がアルメニア人で、私を「ニヤカガワ」と発音するくらい訛ってるのに堂々と渡りあったことですね。専門性があればどんな英語でもみんな聞いてくれるから、這ってでも知識を得てとにかく話そうと思いました。あと、アフリカ担当のとき、地デジの送信機を設置するためにモザンビークの朽ちかけの高層アパートの屋上に上がったり、モザンビーク運輸通信省の局長室で「許可が出るまでここから動かない」と居座ったことや、ポツワナで丘の上の送信所に向かうとき、車が動けなくなってみんなで車を押したことも忘れられません。結構命の危険があったと思いますが、アフリカの人っていつも楽しくて不思議と怖くないんですよ。でもその環境で日本の常識に合うアウトプットを出さないとイケないわけで、自分のキャパ的なものが、ものすごく広がった気がします。

### 総務省でできる仕事

研究企画とか技術営業など本当に多様な仕事ができます。中でも公務員の重要な仕事の一つは利害調整、行司役です。例えば5Gの新しい無線周波数を導入するとか、今後の展開が本当におもしろそうな技術に電波を使いたいという話とか、本当にたくさん案件があるんです。でも同じ周波数で、放送や衛星など既に他の目的に使われていると「調整」が必要です。すると関係者からはポジショントークが始まる訳です。行司役の総務省は其中で一定の結論に落ち着かせるのが仕事です。関係者は組織を背負って発言していますから簡単にはいきません。「譲り合い」を引き出すためには、省として言ったりやったりしていい範囲を確定し、その中でのトークと行動が求められます。目の前のその人が、会社に帰って上司に説明することを考えて対応します。あと、総務省が自ら戦うときも結構ありますよ(これも醍醐味)。一つの仕事が終わるとそれだけでも痛快なのに、「ほんと、助かりました」と言ってもらえると飛び上がるほどうれしいですね。この一連の仕事にアドレナリンが出る人は向いています。総務省ってそういう仕事が多いと思いますね。

### 総務省を考えてくれる人へ

自分の大切な時間を総務省で過ごすって本当にいいのか、自分で調べたり、先輩とか私に遠慮なく聞くとかした上で、よく考えてみてください。官庁訪問で面接に来てくれた人には、私は半分以上の時間を総務省の説明に当てています。みなさんも選ぶ立場ですから、しっかり査定して下さいね。私は転職サイトや人づてでオファーが来る度に総務省で働くことを見直しています。でも扱う仕事や集まる情報の幅広さ、同僚のおもしろさで結局残ることを決めてきた感じ。ビジネスも絶対おもしろいと思いますが、幅広く情報通信業界を見聞きして、理解して、それでも手が震えながら許可をしたり、作ったりしていく「総務省」は十分刺激的でおもしろいんです。自分は果報者なのかおめでたいのか、これまで飽きることはなかったですね。



在ロシア大使館での天皇誕生日レセプション

総務省総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐

## 中川 拓哉 Takuya NAKAGAWA

- 平成 14年 4月 総務省採用  
同 総合通信基盤局電波部基幹通信課
- 平成 16年 4月 農林水産省農村振興局整備部農村整備課
- 平成 17年 10月 同 農村振興局整備部地域整備課
- 平成 18年 4月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課  
国際周波数政策室国際政策係長
- 平成 20年 2月 併任 情報通信政策局情報通信政策課
- 平成 20年 7月 総務省情報流通行政局情報流通振興課課長補佐
- 平成 21年 5月 在ロシア日本国大使館二等書記官
- 平成 24年 4月 同 一等書記官
- 平成 24年 7月 総務省情報通信国際戦略局国際政策課課長補佐
- 平成 24年 7月 同 情報通信国際戦略局国際経済課課長補佐
- 平成 26年 8月 同 情報通信国際戦略局技術政策課  
研究推進室課長補佐
- 平成 29年 7月 現職

仕事ではスリルばかり  
味わってきました